

議 員 全 員 協 議 会

日 時	令和 6 年 11 月 18 日（月）閉会中	8時54分 開会 10時31分 閉会
場 所	相良庁舎 4 階 大会議室	
出席議員	議長 16 番 村田博英 副議長 15 番 原口康之	
	1 番 石山和生	2 番 谷口恵世 3 番 絹村智昭
	4 番 名波和昌	5 番 加藤 彰 6 番 木村正利
	7 番 松下定弘	8 番 種茂和男 9 番 濱崎一輝
	10 番 植田博巳	12 番 太田佳晴 13 番 中野康子
	14 番 大石和央	
欠席議員		
事 務 局	局長 前田明人 次長 浅井大典 書記 本杉周平 書記 中田 綾	
説 明 員	市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、政策監、 産業経済部長、危機管理課長、企画政策課長、商工企業課長、 観光課長	
傍 聴		

署名 議長

開会の宣告

○議長（村田博英君）

それでは皆さんおはようございます。ちょっと時間は早いですが、おそろいですので、議員全員協議会を開催いたします。

2 市長報告

○議長（村田博英君）

市長報告をお願いいたします。

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

皆さんおはようございます。

今日は5件の報告案件がございますので、資料に沿って報告をさせていただきます。

後ほど説明もさせていただきますが、昨日は議員の皆様にも、まきのはら産業フェア2024にご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。詳細については、後ほどお話をさせていただきます。

最初に、5件の報告案件の前に、一つ、議会の皆さんに少し情報をお伝えしたいということではありますが、今、国のほうでは、103万円の壁を取っ払って178万円にするということが政府与党と、それから国民民主党とで協議が始まっているようでありますが、国では7兆円から8兆円の財源不足になると。その財源をどうするんだということも含めてやっておりますが、国民民主党に関しては、それは政権与党が考えることだということで、とにかく手取りを増やせというようなことでやっているわけですが、これはどういう影響が我々のところに来るかということですが、市町村県民税に関しては、その約8兆円のうちの半分が市町村県民税なんですね。そのうちの約半分が市民税であります。

牧之原市にどのような影響があるかということをし少し税務課のほうで試算をさせました。ただ、詳細については積算方法が示されておきませんので、想定の部分がありますけれども、単純に基礎控除の部分が103万円から178万円になる。納税者全員が減るわけですね、税金が。いわゆるそういったことでありますので、高額所得者ほど有利だということはあるわけですが、そういう中で試算しますと、約7億8,000万円から8億円、約8億円の財源不足に我々は陥ると。国がそこを何らかの施策を講じていただかないと、我々とする予算を組めないんですね。

例えばの話なんですけど、8億円ってどれくらいの事業かというと、榛原総合病院への負担金、いわゆる建設費の県債費と、それから運営費の助成をしているわけですが、これが7.7億円なんですね。ほぼ榛原総合病院へ繰り出すお金が消えるということなんです。それぐらい大きいことなんです。

もう一つは、消防の委託が今、静岡市へ委託していますが、6.7億円ということですから、そこにも満たないんですけど、そういった部分が全て財源がなくなることなので、何を切って、何を貼りつけるかということは当然あるんですけど、かなりの基礎自治

体にとって大きな打撃になる。県にとってもそうでしょう。

ですから、行政サービスが今までどおりいかなくなってしまふ、滞ってしまうということが想定されます。ですから、そこを本当に本気になって、財源対策、あるいは事業を国は何をやめるとか、極端な話、やらないと成り立たないんです。

もう一つは、今回、補正予算でも出させていただきますけど、いわゆる人件費を上げるということで、最低賃金を上げるということはやっているわけですけど、今回、人勧が出て、今回まだ国が通っていないので、補正予算を上げていませんけれども、人勧だけでも2.7億円上がるというようなことで、その財源措置も基本的にはないわけです。ですから、一般財源でもろ出ていくわけですね。

そういったことであるとか、例えば来年度から地域手当を4%、段階的に4でいくんですけど、そこを踏まえても、かなりの市の財政にとっては、非常に厳しい予算編成を今強いられているということで、三十数億円足りないというような、現時点で。非常に厳しい予算編成を強いられてるわけですが、人件費も相当なウエイトを占めてくると。しかしながら、まだそれが税収に反映されていないし、交付税等で補填されるかということ、そこも今ないわけですね。ですから、非常に厳しい運営になってくだろうと予想しています。

さらに、先ほど言った103万円の壁を取っ払われる。178万円にするということは、成り立たないですね、予算を組めないです。というような状況であるということを、ぜひご認識を、まずいただいております。

じゃあ我々は何しているかというと、先週、全国の市長会の役員会がありました。そこで国のほうと意見交換して、こういう状態なんだということをお伝えしてあるということです。よく、国民民主党の代表からは、総務省の回し者だとか何とか言っていますが、そんな総務省から文書一つも来ていません。そういうことをやれということは、一切文書は来ていませんので、これを我々としては、そういうことで試算するしかないの、試算した結果がこうだということは、市民の皆さんにもお伝えをしなければいかんしねというふうに考えているところでありますので、またいろんな機会では話題を出していただいたり、関係からまた上へ上げていただくとか、議会としてもまた何らかの動きをしていただけるとありがたいなというふうに思っているところでございます。

それでは、案件5点について、私のほうから報告をさせていただきます。

まず、静岡市消防局の牧之原消防署の榛原出張所の件についてでございます。

8月19日の議員全員協議会におきまして、吉田消防署の管轄区域を吉田町のみといたしまして、旧榛原町区域につきましては、牧之原消防署の管轄区域に変更し、榛原出張所を新設する計画であることを報告をさせていただきました。その後、榛原出張所の用地選定を細江地区において進めてまいりましたが、出張所の位置や費用等を総合的に勘案し、旧島田掛川信用金庫細江支店を活用したいというふうに考えております。

地元の理解につきましては、既に細江区役員へ説明を行いまして、12月初旬に所在・近隣する谷の口、後原町内会、中旬に細江全体の町内会長会への説明を予定しているところでございます。

なお、今後は、土地及び建物を購入し、その後、改築工事を行い、新たな静岡地域消防運営計画がスタートする令和8年4月1日の出張所の開設を目指して準備を進めていきたいと考えております。

11月の定例会におきまして、土地及び建物取得費、設計業務委託費を補正予算として上程させていただきます。

消防力の体制強化及び市民サービスの向上のため、議会の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

次に、ムーア・アロハ財団ミニキャンプ in 牧之原についてでございます。

当市では、2020年東京五輪ホストタウン事業で築いた交流を五輪レガシーとして位置づけまして、その継承に取り組んでおります。

昨年度、ジュニアズアクションスポーツクラブの子供たちがハワイ州を訪れ、2020年東京五輪金メダリスト、カリッサ・ムーア選手が運営するムーア・アロハ財団ミニキャンプに参加をいたしました。

財団といたしましても、継続的な相互交流になることを期待しておりまして、今年度は、財団のメンバーが当市を訪れまして、サーフィンや日本文化の体験を通じた国際交流を計画しております。詳細については、担当部から説明をいたします。

○議長（村田博英君）

企画政策部長。

○企画政策部長（大石佳伸君）

それでは私のほうから、このキャンプの概要について、少しご報告をさせていただきます。

あといいよ2週間後にこのメンバーが来ていただけるということで、本当にありがたいと思っていますし、昨年12月に行ったそのリターンとして来ていただけるということで、万全の体制で、もてなしの体制を今築いているところでございます。

資料をご覧ください。資料1になります。

概要としましては、今、市長から話があったとおり、東京五輪のホストタウン事業の一環として、その継承に取り組んでいるということの中の一環で、今回ハワイから16名のメンバーが来るということでございます。

開催日につきまして、訪問日につきましては、11月29日にセントレアから牧之原市に入ってくるということになります。そしてアウトは、1日京都の滞在を経まして、12月2日に、またセントレアからホノルルに向けて出発をするというような形になっております。

メンバーにつきましては、カリッサ・ムーア選手、そして旦那さんのルークさん、そしてお父さんのクリスさん、そのほか財団のメンバーということで6名。そして、ムーア・アロハ財団の子供たちですけれども、ガールズという表現がいいのかどうかはあれですけれども、この下の写真の、日本人の子供たちも写っていますけれども、アメリカ、そしてハワイの子供たちが10名訪れるということで、中学生、高校生の女の子が主になるかなと思っています。

宿泊につきましては、スウィングビーチに3泊ということで、全日程とすると3泊5日というような形になるかなと思っています。

主な日程ですけれども、5番でございます。先ほど言ったとおり、セントレアに入ってきて、牧之原市に来ていただいて、30日についてはビーチクリーン、そしてサーフィン、そしてランチ交流等を行って、午後には石雲院を予約させていただきまして、日本文化体験という、空港おもてなしの会の皆様のご支援、ご協力をいただきまして、着付け、そ

して簡易ではありますが、茶道の体験も行っていただけるということで、計画していただいています。

1日は、茶関連施設の訪問であったり、またガストロノミーを少し加えていきたいと思っていますので、市内のお寿司屋さんで手巻き寿司体験、彼女たち非常に日本食に興味があるということです、ぜひそういった形で日本食。お魚、生がどうなのかというところは少しまだこれから確認ですけれども、基本的にはそういったのも大好きだということで聞いていますので、そういった対応をしたいと思っています。

2日が月曜日になりますので、市役所の表敬訪問ということで、こちらにつきましては、市長等の表敬訪問に合わせて、既にお願いをさせていただきましたけれども、議長、副議長への出席もお願いしておりますし、12月にハワイの訪問に同行していただいた皆様にも、出席を今お願いをしているところでございまして、ぜひ皆さんで歓迎をしたいと思っています。

その後は、同じ年代の子供たちとの交流も必要だということで、榛原中学校のほうに伺うということで考えています。榛原中学校のほうでは、学校紹介であったり、合唱であったりということで、子供たちと一緒に交流ができるというような形で考えております。

その後、京都に一度向かいまして、京都で1日過ごしまして、4日に中部国際空港からホノルル空港へ出発するような形になっております。

担当としましては、企画政策部及び秘書広報課ということで、担当させていただきますけれども、ぜひこれからこの事業につきましては、サーフィン関係者、サーフィンメディア、そして地元報道等も非常に興味を持っていただいておりますので、このムーア・アロハ財団というのは、全米から子供たちを集めて、そして財団をつくっているということです。その財団のメンバーが初めて日本を訪れるということです、ぜひそういった形でもこの牧之原市の絶好のシティプロモーションの機会であるかと思っていますので、そういったところで、ぜひ牧之原市を発信していきたいと思っています。

以上、説明を終了させていただきます。

○市長（杉本基久雄君）

それでは続きまして、全日本サーフィン選手権大会の開催についてということですが、公益財団法人日本サーフィン連盟主催の国内最大級のサーフィン大会、全日本サーフィン選手権大会が、来年9月に牧之原市の静波海岸で開催されることが決定いたしました。

海岸線から富士山を眺望できる景観が楽しめるとともに、駐車場から海岸まで徒歩で行き来が可能なサーフスポットは全国的にも珍しい中で、広い駐車場やトイレが完備されている点が、この規模の大会開催に適していると評価をいただき、今回決定に至りました。

当大会につきましては、平成13年度に榛原町で開催されて以来、24年ぶりの本市での開催となります。昨年度は宮崎県で開催され、全国から参加選手や関係者、家族など帯同者を加えた1,500人以上が1週間程度滞在したことによりまして、延べ1万人を超える来訪実績があり、出場選手へのアンケート結果を基に、交通費、食費、宿泊費などの消費額を算出すると、来年度の本市の開催に当たり20億円から30億円の経済効果が見込まれます。

また、SNSや報道等を通じまして、本市のサーフィン環境を含めた魅力を発信するチャンスでありますので、大会後も、サーファーをはじめとした多くの方に本市を訪れても

らえるよう、関係者と連携して当市の魅力を実感してもらえる大会としていくとともに、マルシェや子供たちが参加するイベントなどを同時に開催するなど、必要な支援を計画してまいります。

参考に、昨日の新聞の朝刊を添付させていただきますので、またご覧いただきたいというふうに思います。

次に、まきチャレ2024の受賞結果についてでございます。令和7年度の牧之原市チャレンジビジネスコンテストにつきましては、国外40社を含む149件の応募、市内外から27社の協賛と、応募・協賛ともに過去最大の規模となりました。

11月7日の表彰式で、下表のとおり大賞をはじめとする11賞の授与を行いました。参考までに、表彰者の表をまたご覧いただきたいと思います。

大賞は、マレーシアのミッドウェストコンポジティブズで、茶葉の繊維を用いた工業用綿布の製品化事業を、準大賞のフォーキッズは子供向けのSNSラットフォーム事業のプランを披露いただきました。

また、昨年大賞の株式会社パララックスは、市内にM－W e d d i n g s 株式会社を設立し、地域資源を活用したウェディング事業を手がけております。昨年のセミファイナリストである株式会社G r e a t V a l u e は、今年度からスタートいたしましたまきペイの運営事業者として市と連携した取組を進めています。

まきチャレにつきましては、今年度で3回目の実施となりますが、年々地域の皆様の期待、それから国内外から認知度が高まっております。

今後もまきチャレを通じまして、地域資源を活用した新規産業の創出に取り組んでまいります。

静岡県知事に就任しました鈴木知事につきましては、市長時代からこのスタートアップに取り組んでおりまして、今後、県でもここについて力を入れていくということでありますので、今後、県とも連携しながら事業推進をしていきたいというふうに考えております。

続きまして、まきのはら産業フェア2024についてでございます。市民が市内産業に触れまして、理解を深める機会をつくるため、毎年実施をしております産業フェアにつきまして、今年度は11月17日に、5月にオープンいたしましたG a s O n e アリーナ牧之原を会場に開催をいたしました。

市議会議員の皆さんには、お越しをいただきましてありがとうございました。

今年度は、月3万円ビジネスの実践の場となる3 b i z M a r k e tや、大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会による取組のPR、R I D E O N M A K I N O H A R A おかえりプロジェクトの登録企業によるお仕事体験など、市の取組の紹介の場として活用いたしました。また、姉妹都市、友好都市とは、お互いのイベントの出展を通じて交流を深めておりまして、今回は8市がブース出展をしました。

これらの取組を含めた市内企業や店舗などのブース出展は、過去最多となる100以上となりました。さらに、特設ステージにおきましては、市民団体や消防音楽隊によりますパフォーマンスの実施などを行いまして、2万2,000人の人出で大いに賑わいました。

例年は榛原庁舎、相良庁舎を会場として実施しておりますが、今回は屋外の体育施設を使用するというチャレンジを行いました。

今後も出展内容や会場選定の工夫を行いまして、地域産業を身近に感じまして、地域の

賑わいとなる、よりよいイベントの実施に努めてまいります。

今回、初めて今年グランドオープンしたG a s O n eアリーナを会場にいたしましたけれども、駐車場の関係で多くの来場者にご迷惑をおかけしたなというふうに思っています。その点につきましては、今後、商工会さん、それから担当部のほうで、今回の開催に当たっての課題の抽出を行って、来年度以降どうしていくのかということも含めて、しっかりと検討させていただいて、また修正をさせていただきたい、そんなふうに思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

私からの報告は以上であります。

○議長（村田博英君）

市長報告は終わりました。5点の市長報告につきまして、ご質問がある方は、どうぞお願いします。

中野議員。

○13番（中野康子君）

2点ほどお聞きします。

ムーア・アロハ財団ミニキャンプ i n 牧之原についてでありますけれども、これは前々からちょっとお聞きをいたしておりました、今月の末ですか、いらっしゃるのを楽しみにしています。

その中で、前回、昨年ハワイに行った人たちに、ハワイのほうからご招待という形でお話が来ていたと思います。そんな中で、12月か1月にこちらのほうからご招待にあれしていらっしゃるということ、何回かこういって聞いてはおりますけれども、現在までの準備がどの程度進められているのか、その辺をちょっとお話しいただきたいと思いますので1点。

それから、まきチャレ2024ですけれども、これすごい宣伝効果もあって、すばらしいなと思います。それで、まきチャレ大賞とか、受賞にいらっしゃる方たちの旅費というのは、海外からいらっしゃるわけで、そういう人たちの旅費というのはどうなっているのな。ご自分たちで出すのかなというのがありましたので、その辺を聞きたいのと、まきのはら産業フェアで、すごく賑わって大正解だったと思いますけれども、3万円ビジネスの人たちのところが、テントが張ってあるために、非常に暗いという声をたくさんお聞きしました。私も実際行ってみて、そのように感じたんですけど、その点を教えていただきたいと思います。

○議長（村田博英君）

企画政策部長。

○企画政策部長（大石佳伸君）

それでは私のほうから、ハワイへの訪問についてということで、少し現在の状況についてご説明をさせていただきたいと思います。

本来ですと、お茶特産課のほうで、茶振協を中心ということで、今段取りを進めておりますけれども、私たちも昨年行った少しノウハウもあるものですから、連携をしながら進めさせていただいているところでございます。

その中で、今考えられる日程的には、1月12日から16日の3泊5日ということで、やはり市長の出張も伴いますので、その辺はしっかり日程を早めに決めていくということで、

1月12日から16日ということで目指して取り組んでいます。

これはなぜかといいますと、やはり年末というところも考えたんですけれども、昨年、議員も行っていただいておりますのとおり、非常に旅費等が高騰しております。特に年末のハイシーズンということで、非常に自己負担の中で過大なといいますか、宿泊そしてフライトの料金ということで、参加いただいておりますということになりますので、できたらそれを少し避けてということで、12日から16日というところで考えています。

現在決定していることについてはこの日程のみで、あとは参加者等これから調整していくというような状況になりますけれども、12月の全協辺りでは、ご報告をさせていただけるものと考えています。

もちろん、今回の目的としては、静岡牧之原茶のPRと販路拡大ということになりますので、そういったところを全面的に出しながらやっていきたいと思っています。

特にご承知のとおり、ハワイは抹茶等の人気が非常に高いということで、そこに販路を見出すというようなところも、プロモーションをかけていきたいと思っています。

ありがたいことに、ジョン・オオモリ氏、そしてハセガワ・ヨリコ氏が、既にハワイでのコンタクトを取っておりますので、そういった形で一番効果的なPR方法について、今ご検討いただいておりますということで、ありがたいと思っていますし、ジョン・オオモリさんからは、今回の訪問は牧之原抹茶＆緑茶ホノルルロードショーというような形で少し名づけて、そういった形で領事館であったり、KZOOラジオであったりというところに売り込みをしているということで伺っておりますので、ありがたいことだと思っています。

これらお二人を、特にアドバイザーとして、協力を得ながら進めていくことが成功率を高めることだと思っていますので、ぜひ、そういった形での連携をしていきたいと思っていますし、もう一つ重要なのは、昨年ハワイ訪問をしていただいたというところが、それがきっかけとなって、このようなつながりになってきていますので、そういったところでカリッサ・ムーアの11月の来日、そして1月のハワイ訪問と、全てがストーリー的につながっているものだと思っていますので、そういったご縁を大切に、1月の成功に向けて取り組んでまいりたいと思っています。

以上です。

○議長（村田博英君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

それこそ日程も決まって、大体の概要は分かりました。前回行かせていただいたときに、市長と私たちが、KZOOラジオのほうでお茶の宣伝をさせていただきました。それですごく多くの方たちがキャッチしてくださったのかなという思いがあって、大変うれしく思っています。ぜひ成功させていただきたいと思います。お茶の宣伝をぜひよろしくお願いしたいと思います。ありがとうございます。

○議長（村田博英君）

産業経済部長。

○産業経済部長（原口 亨君）

まきチャレの受賞者の旅費ということですが、受賞者の旅費につきましては、それぞれ受賞者の方が全て負担をしているという、こちらでは特に用意していないという状況です。

○議長（村田博英君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

それこそ、マレーシアから来た方は今回はご欠席だったじゃないですか。理由はちゃんとおっしゃったけど、旅費も高いものねというのは感じていたんですよ。それと、最後の方たちなんか、フィリピンとかあの方たちなんかは、5万円ぐらいじゃないですか。だから、皆さんちょっと旅費が高い中で賞金が少なくて、よくおいでるねという、そういうあれがあったものですから、すみません、失礼なことをお聞きしまして申し訳なかったですけど、分かりました。ありがとうございました。

○議長（村田博英君）

企画政策課長。

○企画政策課長（本間直樹君）

産業フェアのときの3ビズのところの、暗かったというお話なんですけれども、屋内での開催は今回初めてだったということもあって、あとどうしても3ビズとしてのイベントの見せ方みたいなものは少し考え方があって、どうしてもテントと、ガーランドという長い薦みたいなことをやらせていただいたんですけど、やっぱり屋内の開催ということで、明るさは少し私たちが気がそこまで回っていませんでした。なので、少し明かりをテントの中につけるようなことを考えればよかったなと思っていますので、次にはぜひ、そういうことをして、反省を生かしていきたいと思います。

以上です。

○議長（村田博英君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

それこそ、3万円ビジネスの方たちがいろんな工夫をして飾ってくださったり、食べ物も結構きれいに種類を多く飾ってくださったんですけども、暗ぼったくて、ちょっとそのよさが見えなかったのが、非常に残念だなというふうに感じたものですから、言わせていただきました。次よろしくまたお願いします。

○議長（村田博英君）

ほかに。

木村議員。

○6番（木村正利君）

私のほうから、まきのはら産業フェア2024についてのことでお伺いいたします。

昨日、市長からもお話しいただいたように、駐車場の問題のご報告いただきましたが、ちょうど10月23日に五市二町の勉強会のときに、ネット環境を、うちの人間も前日行ったときは、全然ネット環境問題なかったんですが、まきチャレのところとか、そういったやるに全然集中したときに、やはりネット環境が使えなくて、まきチャレの店舗で使えないという報告を聞いていまして、そこら辺のことも、これから防災として、相良、サーボもそうなんですけど、放射能のあれで亜鉛で遮断したりという中で、閉鎖性とかネット環境がかなり悪くなるんじゃないかなというのは私も想定していたんですが、あのイベントで、あれだけの人数、たまたま異例か分かりませんが、それで脆弱性が見えたというこ

とは、いろんなお話を聞いたときに感じたので、そこら辺のことについて、少しご説明いただければなと。

○議長（村田博英君）

商工企業課長。

○商工企業課長（山本英広君）

それでは、今の件についてお答えしますが、昨日の産業フェアで、先ほどから課題として駐車場であるとか、今、木村議員のほうからは通信環境の関係で課題があったよということで、今回やってみて初めて分かったことでありまして、昨日もやはり通信に障害があるというような声をいただいております。

今回ですけど、初めて屋内で行ったということと、あそこの場所で初めてやったということで、やはりそういった様々な課題が生じています。実行委員会を、今後、事業の内容を含めて、次回、来年度は市政施行20周年、それから田沼の関係ということで、より盛大に計画をしたいということがあるものですから、至急実行委員会を開催して、各通信会社とか施設の運営者も含めて、解決をできる、次はあそこでやるということは分かりませんが、今後いろんなイベント等を開催するという中で、そういった通信障害ということは非常に問題になるものですから、今回そういったことをきちんと検証して、これからの活用を図っていただきたいと、そういうふうに思っています。よろしくお願いします。

○議長（村田博英君）

木村議員。

○6番（木村正利君）

ぜひ、イベントプラス、防災上の拠点ということになっていきますよね。そちらのほうも私も重要ななと思っていますので、いろんなケースは出てくると思いますので、通信のこと、この前の五市二町でもスターリンクを使ったとか、そういう情報もいただいています。いろんな角度で、そここのところがいつ来てもおかしくない災害のことの拠点として、そこら辺の対応って、市として前向きに考えていただきたいなと。今ご報告いただきましたので、ぜひよろしくお願いいたします。

○議長（村田博英君）

そのほかございますか。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

全日本サーフィン選手権大会の開催決定についてということで報告がありましたけれども、この中でいくと、当市での開催で20億円から30億円の経済効果ということで、これ物すごい市にとって、本当にこのような効果が出れば大きなことだと思うものですから、ぜひとも、経済効果、いろんなところで発揮するようお願いしたいんですけども、ちょっと心配な点が、ある意味、最近宿泊というのはビジネスホテルを使うということが基本になっていて、牧之原市内に残念ながらホテルはないものですから、宿泊客が外に流れちゃうという、周辺の。せっかくここでやっても、それが心配なんですけれども、そこをうまく、市内の宿泊施設を使ってもらえるような策というのは、具体的にどのように今考えていますか。

○議長（村田博英君）

企画政策部長。

○企画政策部長（大石佳伸君）

私のほうから少し答えさせていただきたいと思います。

やはり市内への経済効果というのは、宿泊してもらってなんぼというものがございまずので、その点をこの話が出てきたときに、先方といいますか、日本サーフィン連盟のほうに話をさせてもらっています。話し合いといいますか、協議させていただいている。

うちのほうはビジネスホテルに限られた形しかないのと、でも民宿はたくさんあるよという話をさせていただきました。その中で、やはりサーフィンに限ってといいますか、サーフィンという種目は、もともと県ごとに、例えばどこかの民宿に入って、それで対応しているということで、十分そういった形で民宿があれば対応できるよというようなことを伺っていますので、まずはこの牧之原市内に宿泊してもらい、宿泊施設を使ってもらいということを大前提に、なおかつあふれた部分については、近隣の市町にお願いするというような形で、必ずしもビジネスホテルとか、個室でというような形で今までもやってきていないようなものですから、その点については、ぜひ市内のまずは宿泊施設を埋めてもらうようなことを第一に考えていきたい、そんなふうに今協議をしているところでございます。

○議長（村田博英君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

ぜひとも、泊まるのは先方なので、こちらで強制的にといかんと思うんですけども、先手を打って、なるべく業者の皆さんともうまく連携を取って、ぜひとも大きな経済効果をお願いしたいなと思います。

それともう一点、その他は後。

○議長（村田博英君）

その他は後で。

ほかにはありますか。

石山議員。

○1番（石山和生君）

今の関連で。今の関連の20億円から30億円の経済効果のところって、宿泊のところ、単純に計算しても1億円くらいしかないんですけど、どういうふうに計算されているのかなと思って。1,500人掛ける1万円掛ける7日間いたと考えても、大体1億ぐらいで、そこから日帰りの人を足したりとか、いろいろしたらもっと増えるだろうなという感覚はもちろんあるんですが、この20億円から30億円ってどういう計算なのかちょっと知りたいです。

○議長（村田博英君）

観光課長。

○観光課長（西谷 稔君）

お答えをさせていただきます。

あくまでもこれは本当に昨年度やった宮崎県の状況を確認させていただきながらの、おおよその数字になってきます。まず、選手のほうが1,500人以上、大体1,500人から2,000人近く来られるということで、その方々だけでも交通費、食費、宿泊費などで1週

間のうち数日間辺りおのおの滞在されるということになりますと、大体1人当たり10万円とかという金額がかかってきます。そこで、大体1.5億円から2億円ぐらいかかるというところがございます。あと、スタッフにつきましても、1,000人近くのスタッフが来られるというところで、3億円。あと、選手の家族とかで3億円、1人で来られる方もいるし、3人で来られる方もいらっしゃるしというところの中で、大体そこで3億円ぐらいかかるであろうと。

また、その他の選手権に出場されない方とか見物客とかで、人数が不特定なところがあるんですけども、1万人前後ぐらいのお客様が来られるということで、そのところで10億円から15億円ぐらいというようなことで、一応計算をさせていただいております。すみません、あくまでも宮崎県の状況を確認させていただきながら算出させていただいております。

○議長（村田博英君）

企画政策部長。

○企画政策部長（大石佳伸君）

少し補足をさせていただきますと、今の石山議員への回答になりますけれども、牧之原市にNSAも視察に来て、その中での経済効果ということで、うたわれています。これは本当に私たちもそこまであるのというところは、今、議員がおっしゃったとおりなんですけれども、やはりそこはしっかり2023年度の全日本選手権に出場者のアンケートを連盟のほうでも取っております。交通費、食費、宿泊費、さっきの説明と少し重なるかもしれませんが、支出額として1人当たり5万円から10万円未満が全体の約5割、10万円から20万円未満が約2割を占めたということで、この結果、これをベースにそれに全ての帯同者も含めた人数、延べ1万5,000人から1万8,000人程度が1週間程度滞在するというようなところの掛け算でいくと、やはりそれだけの効果があるんだろうなというところで、NSAのほうからは聞いております。

以上です。

○議長（村田博英君）

石山議員。

○1番（石山和生君）

今、選手が1,500人で、それ以外に家族が、ここに書いてあるのは、参加選手、関係者含めて1,500人と書いてあるんですけど、そうじゃなくて1,500人プラスあるという、そういうことですか。

○議長（村田博英君）

企画政策部長。

○企画政策部長（大石佳伸君）

そのとおりで、すみません、少し記載が紛らわしくて申し訳ないですが、選手は1,500人、これは確実に来ます。そして、併せて選手のみならず、コーチや家族などの帯同者が約1週間程度ということで、延べ1万5,000人から1万8,000人という数字が母数になっております。

○議長（村田博英君）

石山議員。

○ 1 番（石山和生君）

それなら数字が大体あるので、分かりましたということです。ありがとうございます。

全然別の質問で、先ほどの 7 億円から 8 億円の減収の壁の話は、今質問しても大丈夫なところですかね。

こちらって国のほうに要望とか、地方自治体の 7 億円から 8 億円は相当痛いというのはそのとおりだと思っているんですけど、何か要望書みたいなものを国か何かに出すみたいな動きがあったりするんですか。

○議長（村田博英君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

先ほども少し申し上げましたけれども、全国市長会の役員会が先週開催されました。そこで国の、総務省でありますとか、財務省でありますとか、そういったところの関係者に対しまして、全国市長会が、これは困る、何とか対策を講じろということの要請をしました。それから、全国知事会においても、直接国に申入れを行っているという状況であります。

○議長（村田博英君）

石山議員。

○ 1 番（石山和生君）

私もぜひ、こうやって地方にしわ寄せが来るようなことのないように、要望を出してほしいなと思っているんですけども、壁自体を反対というよりは、壁をやる場合には、しっかりと地方にケアをした状態でやってくださいよと、そういう要望という意味合いで合っていますか。

○議長（村田博英君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

103万円の壁が30年続いている。最低賃金も七十数%上がっているということから、今回の国民民主党の提案だというふうに心得ておりますが、そのこと自身が悪いわけではないというふうに私も思います。今まで30年間、放っておかれたこと自身が問題だというふうに思っています。

ですので、そこを是正するのは必要なことというふうに認識しておりますが、最高の178万円がいいのかどうかという議論はあると思いますし、それから、そこで減る財源をどこで確保するのかというのも含めて、トータルで考えていただきたいということがあります。財布は一つですので、その中でどうやりくりするかということは、しっかりと議論いただきたいというふうに考えています。

○議長（村田博英君）

ほかにございますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（村田博英君）

では、市長報告は終わりとしますが、せっかくの機会ですので、その他で市長に聞いてほしいと、質問したいということがありましたら、どうぞ。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

一点お願いしたいんですけれども、毎日、新聞を見ていると、毎日のようにSNSを使った詐欺というのが頻発していて、以前はオレオレ詐欺ということで、非常にアナログ的な詐欺だったんですけれども、それで市のほうでも広報を流してもらったり、いろんなもので注意喚起を呼びかけているのは、それは承知しておりますけれども、それにしても大きいし、実は先日もうちのお袋のところに電話があって、古いものをうちにいろいろないかということで、あったらしいです。

それで、いやうちの人がもうすぐ帰ってくるのでと言ったらすぐ切っちゃったという、そんなこともあったものですから、いろんな形でこういうケース、こういうケースというようなことで、特に我々も高齢者になってくるんですけれども、分かりやすい、市のほうも、あってからでは遅いし、毎日大きなとんでもない金額のSNS詐欺が出てるものですから、やはりその辺を改めて喚起を呼びかけていただきたいなという、そのお願いですけれども。

○議長（村田博英君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

私も、非常にそのところを危惧しています。特に闇サイトの関係って、これからどんどん広がってくると、とんでもないことになっちゃうなと思いますので、そこは牧之原警察署とも協議をしながら進めていきたいなと思っていますし、それから、私個人的に始めたのは、自宅の電話をナンバーディスプレイで、電話番号が出るようにしました。それで、今ネットでは0幾つとかという番号があるんですけど、その番号とか、あるいは0120、0120は悪くはないんですけど、海外の番号がついていたりというのは、出ないほうがいいよということで、それを見て電話に出るように、うちの中では対応させるようにしていますけれども、携帯なんかもしょっちゅうかかってくると思いますよ。なので、無作為でかかってくると思いますので、そういったもので、この番号は気をつけた方がいいよというようなものの発信も含めて、少し考えていきたいし、警察と協議して、対策を強化していきたいというふうに思っております。

○議長（村田博英君）

危機管理課長。

○危機管理課長（森田克彦君）

今現在よくあるパターンが、市で物をただであげるのも、世帯の人数を教えてくださいということです。これが多分1人世帯の場合は、今はやりのお宅へ訪問できちゃうとかという、そういうことなのかなというふうに思います。太田議員がおっしゃいました、処分するようなものがありますかというパターンは、あれは自宅へ来て自宅の中を拝見したいということが主なものというふうに我々は聞いております。

今現在、牧之原市内におきましては、警察からも確認をしているんですが、4月以降、うちの市内ではまだオレオレ詐欺とか、そういったもので引っかかっている方がいないということで、皆さん非常に気をつけてくださっているなというふうに思っております。

ことがあれば、すぐにLINE等で、こういった詐欺が起こっていますということは毎

日気を配りながら送っているつもりではいます。昨日の産業フェアのほうでも、詐欺被害防止とかというようなティッシュを啓発して、啓発活動を行っているのと、あと老人会の皆さんが、防災学習を時々やってくれるものですから、そういう中で防災とは別で、そういった詐欺の被害、こういうことには気をつけてくださいねということを周知を今しております。

以上です。

○議長（村田博英君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

引き続きお願いしたいんですけれども、もう一つはちょっと思いついたんですけど、今、闇サイトで犯罪に巻き込まれるって、若い人たちが高額の報酬を出されて、それで情報を取られてという、この辺も若者たちへの、犯罪に巻き込まれないような、そういったことも併せて、また注意喚起をお願いしたいのと、そんなふうに思いますので、よろしく願いします。

○議長（村田博英君）

危機管理課長。

○危機管理課長（森田克彦君）

市内の高校生には、闇サイトについての講話等は、我々のほうでも警察と一緒に実施をしております。中学生のほうにも、同じような内容はしておるんですが、小学生が携帯電話を今、ほとんどが持っているんですが、なかなかそこまで私たちが小学生まで説明をするのがいいのか、親御さんを通してご説明をしたほうがいいのかというところが、今少し我々のほうでも課題になっていまして、現在そこはすみません、警察と協議をして、小学生も低学年に説明しても、なかなか理解をしていただけないという部分があるものですから、その辺については、すみません、もう少し我々もやり方について、検討していきたいと思います。

○議長（村田博英君）

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

学校サイドでも、SNSの使い方とか、その辺についても指導はしています。ただ、具体的に闇バイトとか、そういったのは小学生ではちょっとあれなんだけど、ただ、使い方、リテラシーの問題ですとか、そういうところについては、学校もかなりそこは注意して、それによるトラブルも、結構、生徒指導上の問題も最近多くて、そこら辺については学校としても注意して指導している現状ですので、これからも続けていきたいと思います。

○議長（村田博英君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

先日も、青少年問題協議会、そこでもやっぱり協議の一番の項目として、委員の皆さんからたくさんの意見を頂戴しました。今後、それをまとめて、対策に向けていきたいと思いますが、先ほど報告させていただいた、まきチャレ2024、この準大賞を取得した株式会社フォーキッズというのがあるんですが、これが15歳以下の小中学生に対して、S N

Sの正しい活用、あるいはスマホの正しい活用、独自にソフトを開発して、それを子供たちに周知をさせて学ぶと。今後、付き合っていかなきゃいけないものですので、分離するとか、それを使わせないじゃなくて、使いながら正しい使い方を覚えるというようなことで、このフォーキッズの提案が、私すごくいいなと思ひまして、審査員の皆さんからも高評価をいただいて、最終的に準大賞ということですので、今後市内の小中学校に、この準大賞をいただいたシステムを使った勉強会といいますか、そんなものもやりたいなというふうに思っております。

○議長（村田博英君）

それでは、以上で市長報告、質疑を終わります。

3 議長・関係議員・委員会報告（１） 会議等の結果

○議長（村田博英君）

続きまして、議長・関係議員・委員会報告を行います。

まず私から。10月23日、五市二町議員研修会、藤枝オーレで行われました。講演はソフトバンクで元金沢市長の山野之義さんという方。内容はDXの取組、能登半島地震への対応ということでございました。

29日、榛原高校との議会報告会を行いました。一般の報告会は、11月1日、地頭方、8日、坂部、15日、相良サーボで行われました。出席の皆さん、ご苦労さまでした。

10月30日、31日、御前崎港ポートセールスで、北海道石狩港と苫小牧港に、視察、ポートセールスに行きました。石狩は港内に風力発電を14機完成させておりまして、安定経営をしているという状況です。特に、苫小牧はカーボンニュートラル事業を推進し、ターミナル事業拡大とともに市の人口が増加し、平成5年人口12万人が、令和5年17万人、売上1兆3,000億円に伸びているということで、港とともに栄えてきたという状況でありました。

11月2日、牧之原市文化祭が行われました。その日は続いて、服織田神社例大祭、式典がありました。参加された皆様、ご苦労さまでした。

11月3日、藤枝市制70周年に出席いたしました。サッカーのまちとしても100年とのことです。藤枝東は入学すると全員サッカーシューズを購入させるということで、100年やってきたということでございました。

7日、まきのはらチャレンジビジネスコンテスト。先ほど説明がありましたので、大賞はマレーシアのミッドウェスト、植物の不織布化事業ということで100万円、大賞を受賞したということでございます。出席された皆様、ご苦労さまでした。

10日、勝間田城址548年祭、今年も全国の勝間田関係者、地元には勝間田関係者はおらないということで、全員が避難、転居したということですが、関係者が24名参加されました。城跡を今も大切に守っていただいている事に感謝の言葉がありました。参加された議員、ご苦労さまでした。

13日、視察受入れで福島県西白河郡、西郷村というところから視察がありました。目的は学校再編についてです。ちなみに、この西白河郡というところは、松平定信侯、白河藩主でしたが、田沼意次侯を失脚させた人だということで、それも話題になりました。失脚させたんじゃないで、改革を推し進めたんだと言っていましたけど。

13日、青少年あいさつ運動、参加された皆さん、ご苦労さまでした。

同じ日に藤枝MYFCサッカーシーズン終了報告会。結果として20チーム中13位ということでございます。藤枝MYFCの契約は結構厳しいので、更新されない人というのは、結構いるみたいです。2年でいろいろお世話になりましたと言って、こっそり言いに来た人もいました。こういう人は、親が心配するのは闇サイトということで、それだけはやるなよと親に言われたということ、陰で言っていました。

17日、市町村駅伝壮行会が行われました。参加された皆さん、ご苦労さまでした。

私のほうからは以上でございます。

皆さんのほうからございましたら。

大石議員。

○14番（大石和央君）

10月24日、榛原総合病院組合例月出納検査が行われました。帳簿等も適正に処理されておりました。

以上です。

○議長（村田博英君）

植田議員。

○10番（植田博巳君）

10月24日から25日、2日間ですけれども、東海・近畿・北陸三地区都市監査委員会が、静岡市の市民文化会館で行われました。内容的には、自治体における監査と合規性の監査、あるいは内部統制と監査、それから25日には災害時の監査対応ということで、代表監査委員と出席してまいりました。

それから、10月28日ですけれども、例月現金出納検査を実施いたしました。一般会計、水道会計、ほか特別会計、全ての会計について、適切に処理されておりました。

11月6日が定期監査、前期の分を実施しました。担当の監査対象は、福祉こども部の社会福祉課、子ども子育て課、福祉相談課の3課を実施いたしました。次の7日は産業経済部の監査ということで、商工企業課、お茶特産課、観光課、農林水産課の監査及び監査委員事務局の監査ということで、実施いたしました。結果については監査報告で行います。

以上です。

○議長（村田博英君）

ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

3 議長・関係議員・委員会報告 （2） 議会運営委員会

○議長（村田博英君）

では、議会運営委員会の報告をお願いします。

加藤委員長。

○5番（加藤 彰君）

議会運営委員会、11月5日の報告をいたします。

まず、アとして、11月定例会についてということで、総務部より報告がございました。提出予定議案、報告1件、諮問2件、議案9件ということで、資料1になりますけれども、

説明がございました。そして、委員会付託につきましては、総務建設のほうは第69号、第71号、第72号、第73号、第75号。文教厚生委員会につきましては、第70号、第74号、第75号、第76号、第77号ということで、お願いをしたいというふうに思います。

それから、報告第8号の専決処分と諮問第3号、第4号の人権擁護委員につきましては、12月6日に議決をするということになりますので、ご承知おきをいただきたいと思います。

次にイでありますけれども、令和7年度当初予算（議会費）についてであります。これにつきましては、財政課による1次査定が11月5日に行われたと。その時点での報告ということになりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（村田博英君）

浅井次長。

○事務局次長（浅井大典君）

資料2をご覧ください。

11月5日に、財政課による1次査定、現時点での査定を受けた段階での説明をさせていただきます。

まず、議員報酬等につきましては、現時点では令和6年度と同額で要求をさせておりますので、対前年比では0になっておりますけれども、ただし、議員共済給付費負担金、これは市議会議員共済会から、11月に例年、来年度はこういった負担率ですよという確定した率が示されますので、これは確定した率が来た段階で、改めて確定した金額を計算して財政課に報告するということになりますので、こういった前年対比0ということになっておりますので、ご承知おきください。

次の議会運営費になります。一括して報償費と費用弁償について、説明をさせていただきます。増となっている理由でありますけれども、松川町の友好都市の訪問ということ、来年度、予算計上させていただいております。ちなみに前は27年度に行ってから、その後、コロナ禍等によって大分間が空いてしまっているんですけれども、来年度、予算要求をさせていただきまして、全議員による松川町の1泊2日による訪問ということで、この費用弁償ということで、72万4,000円の増と。あとは訪問によります謝礼、土産代等の増で、このところが8,000円と72万4,000円の増となっております。

需用費につきましては、印刷製本費、これが議会だよりなんですけれども、二つ増額の要素がありまして、一つはもろもろ非常に物価高騰等ありまして、1ページ当たりの見積り徴収をしたんですけれども、1ページ当たりの単価がおおむね5円ほど上がっておったというのが一つ。もう一つは、来年度、皆様ご承知のとおり、市議会議員の改選がございましたので、議員改選に伴う市議会だよりの臨時号発行分ということで、通常よりも多い発行となりますので、その二つで要素がありますので、72万円の増ということになっております。

その下の役務費なんですけれども、22万9,000円減なんですけれども、これはこの後、準備はできておりますので、タブレットの更新をさせていただくんですけれども、初期手数料は当然来年度はなくなりますので、これのなくなるということと、もう一つこういった本会議を含めまして、会議録の筆耕翻訳料、これの少し時間数を精査しまして、減ということで22万9,000円の減となります。

その次の、委託料の22万9000円の増なんですけれども、これは定例会ごとの一般質問の

収録、編集、配信の映像配信業務委託をしているんですけれども、近年、一般質問の時間数がこちらの設計数、契約数よりもオーバーしているというか、契約よりも長いというところが実績を踏まえまして、少し時間を今までよりも多めにさせていただきましたところによりまして、22万9,000円の増となっております。

その次の使用料でございますけれども、こちらにつきましても、通信機器、タブレットの更新を今年度に行います。それにつきまして、来年度につきましても、今年度、導入で令和6年度の予算額に対しまして、実質NTTドコモさんと単独随意契約になるんですけれども、その入札といいますか、見積り合わせで金額がこちらが設計したよりも安い金額で落札していただいたことによりまして、97万2,000円の減ということでございます。

その次の備品購入費22万円の減なんですけれども、これにつきましては、議員図書室のほうにあります、購入して10年経過して非常に不具合ですとか、動作不良等がありましたので、こちらのほう今年度既に納品をして新しいものに入れ替わっておりますので、そのパソコンの購入費が来年度はなくなるということで減と、ゼロということで、22万円の減ということになります。

その次の負担金の減ですけれども、今、地方議会議長連絡会負担金が、これにつきましては、繰越金があるということで、来年度につきましても徴収はなしということで、協議が整いましたので、来年度その分がないということと、全国民間空港所在都市議会協議会の臨時総会ですけれども、今年度は副会長という役があるものですから、総会等に出席をしておったんですけれども、その分が来年度は副会長から役が外れるということで、そういったことも含めまして、3万2,000円の減ということになっております。

議長交際費は16万円ということで、同額で要求をさせていただいて、増減なしということとであります。

議会事務局運営費の旅費につきましては、先ほど申したように、松川町に訪問するに当たりまして、事務局の随行の旅費ということで、この分が増えております。

また、事業費のほうは消耗品等の購入費なんですけれども、様々なものが上がっているということで、少しだけ増額をさせていただいております。

その下の備品購入費は、こちらにも議員の図書室のパソコン同様、事務局の事務室に置いてあるパソコンも同じときに購入して、動作不良等、非常に劣化をしておりますので、議員図書室のものと併せまして、今年度もう既に購入更新させていただいておりますので、来年度その分がなくなるよということで、減ということです。

最後になりますけれども、こちらは事務局のほうの東海市議会事務研究会というものがあって、事務局のほう勉強する研修費となるんですけれども、その会議の負担金の2,000円、これは今年度どおり要求させていただいておりますので、増減なしということとであります。

現時点ですけれども、トータルといたしましては、令和6年度と比較しまして7万2,000円の増ということで、ほぼ例年並みということで現時点では要求をして、1次査定が終わったということで、報告をさせていただきます。

以上です。

○議長（村田博英君）

加藤委員長。

○ 5 番（加藤 彰君）

今、1次査定の段階の予算査定の状況ということでございましたけれども、松川町への友好都市訪問、そのスケジュールなどにつきましては、今後、また議運のほうで協議をさせていただきたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

次に、ウでありますけれども、資料3になります。令和7年度の議会スケジュールについてであります。これも事務局より、お願いいたします。

○議長（村田博英君）

本杉係長。

○事務局書記（本杉周平君）

それでは資料3、令和7年度議会スケジュール案というほうをご覧ください。

令和7年度の議会スケジュールになります。例年、議会のスケジュールにつきましては、この時期にご協議いただきまして、この後、当局であったりとか、一部事務組合の会議なんかにも影響してきますので、なるべく早めにとということで、いつも出させていただいておりますので、よろしくお願いします。

基本的に、議運であったり、常任委員会協議会、それから全協というのは、申し合わせのほうで、この日だよということで決まりがございますので、それに基づいて各月ともに入力をしております。ただ、祝日であったりとか、土日等によって多少前後しているということはあるけれども、その三つについては、例年と同じように組ませていただいているということでございます。

そういった中で、本会議のことになりますけれども、まず6月の本会議、6月定例会になりますけれども、6月のところをご覧くださいというふうに思いますけれども、6月2日に開会しまして、閉会としますと6月27日の金曜日という形で予定をしてございます。その中に、一般質問であったりということを組ませていただいているということでございます。

次、9月定例会です。9月定例会につきましては、9月のところをご覧くださいと思いますけれども、9月1日の月曜日に開会いたしまして、閉会が翌10月2日という形で今、予定を組んでおります。9月定例会では決算の連合審査がございますので、一般質問であったり、決算連合審査については、そこに記載のとおり、スケジュールを組ませていただいているということでございます。

10月になりますけれども、通常であれば、議運であったりとか常任委員会協議会、こういったものが入ってきますけれども、何分、来年度は皆様改選がありますので、例年の改選の年については、10月については行事を入れないということでやっております。もし、緊急に何かということがあった場合は、招集をお願いする場合もございますけれども、この10月2日の定例会が閉会した後は、基本的には議会のほうの予定は入っていないという形で今考えております。

それで、10月27日に、仮ということで議員連絡ということで書かせてもらっております。あくまでも想定ですけれども、皆様の任期が10月29日までという形になっておりますので、選挙自体が10月26日ぐらいかなということで、私のほうで、あくまでも想定ですけれども、そうした場合、選挙があった翌日に当選証書付与式というか、そういったものが選管のほうでありますので、それが終わりましたら、相良庁舎のほうにお越しいただいて、こちら

の議員連絡をさせていただくということで今考えております。これについては、大体毎回、この4年ごとにやらせていただいている会議になります。あくまでも仮というのは、実際の投開票日によって、これは日にちがずれてきますので、あくまでも仮ということでお願いできればというふうに思っております。

次、11月になります。改選がございますので、こちらにも例年4年に1回やっておりますけれども、上旬に新議員の皆様への研修会、それから中旬に、今のところ13日の木曜日に臨時会ということで、ここで議長、副議長であったりとか、常任委員、それから特別委員とか、一部事務組合委員、そういう形を決める臨時会を予定をしております。そうしますと、その前に議員協議会ということで、議員の皆様にお集まりいただいて、議長選挙であったり、副議長選挙であったりということをやさせていただく会議を開く必要がございますので、それを10日、11日、12日と3日間入れております。これにつきましては、スムーズにいきまして早く決まるようであれば、3日目がないとか、2日目がないとか、そういうこともあろうかというふうに思っておりますけれども、3日間ということで今入れさせていただきます。

13日が臨時会ということで、ここから新たな常任委員であったり、新たな議長の下、議会構成が決まって始まっていくという形になろうかなというふうに思っております。

11月は11月定例会もございますので、11月定例会は25日の火曜日に開会しまして、閉会が翌12月19日の金曜日ということで予定してございます。

最後、2月の定例会になりますけれども、2月の定例会につきましては、2月20日の金曜日に初日を迎えて、終わりが3月24日の火曜日ということで予定をしております。

なお、2月定例会につきましては、次年度の当初予算の連合審査会がございますので、一般質問、それから予算の連合審査会を記載のとおり入れているという形となっております。

以上、簡単ではございますが、来年度の牧之原市議会の年間のスケジュール案という形になっております。

今日、こちら報告させていただきましたら、当局のほうへも情報提供しますし、適宜、一部事務組合のほうにも情報提供いたしますので、今後そういった一部事務組合の会議については、これを基に空いているところに会議が入ってくるという形になりますので、ご承知おきいただければというふうに思います。

説明は以上です。

○議長（村田博英君）

加藤委員長。

○5番（加藤 彰君）

一点、一般質問のヒアリングの関係でありますけれども、これまで2日間ということで、日程のほうを取らせていただいてありましたけれども、7年度におきましては、1日というふうに変えたいというふうに思います。

その理由としましては、これまでの実績を踏まえた中で、1日で大丈夫だろうということと、もう一点は、行政側の答弁の作成の作業といいますか、そういったものの時間を少しでも取りたいというようなこともございまして、一般質問のヒアリングは今回1日というふうになっておりますので、ご承知おきをいただきたいと思います。

次にエといたしまして、議会の防災訓練、12月1日に地域防災訓練がありますので、これにつきまして、5のその他（2）で報告をいたします。

次にオとしまして、議会運営委員会視察研修についてであります。実施の方向で話を進めるというふうに考えております。テーマにつきましては、若者の意見を反映、また提言に取りまとめるなどの取組について学びたいと思います。

また、視察先は現在、岐阜県可児市議会を考えておりまして、事務局のほうで日にちの調整をしているというところでございます。今月21日、議運の中で、受入先の状況等を踏まえて、あと一つ二つの視察先を追加したいと考えております。

次にカ、陳情（要望）等の取扱いについてということで、学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願いが郵送で来ておりましたので、これは申し合わせどおりに、資料配付ということにいたしました。

以上でございます。

3 議長・関係議員・委員会報告（3） 総務建設委員会

○議長（村田博英君）

続きまして、総務建設委員会、濱崎委員長。

○9番（濱崎一輝君）

それでは、総務建設委員会の報告をさせていただきます。

10月21日に委員会を開催しまして、移住者との市民会議の日程の調整についての話合いを行いました。

11月11日には、移住者との市民会議についてということで、市民会議の概要、参加者の確認、それから開始時間と意見交換の話合いの事項についての最終確認を行いました。あと、その他といたしまして、議会報告会の市民との意見交換会についての意見の取りまとめ方、それから役割についての確認を行いました。

明日になりますけれども、移住者との市民会議を夕方予定しております。

あと、別件になりますけれども、合同協議会が11月21日、21日の2日間予定されておりますけれども、これは11月21日、1日のみとさせていただきますので、ご理解いただければと思います。

私からは以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告（4） 文教厚生委員会

○議長（村田博英君）

続いて、文教厚生委員会、谷口委員長。

○2番（谷口恵世君）

文教厚生委員会です。

10月23日に文教厚生委員会を開会いたしました。内容につきましては、後期のテーマが、子供の権利関係と学びの多様化教育ということで、それに基づいた勉強会、市民会議についてどのように進めるかの協議をいたしました。それから、今後のスケジュールについて、事務局から説明をいただきました。

それから、11月12日に文教厚生委員会を開会いたしまして、勉強会につきましては、学

校教育課との不登校に関する勉強会の日程についてを調整いたしまして、11月22日を予定しております。

それから、市民会議の相手先について、委員から候補先をいただきましたので、それに基づきまして協議をし、今後、市民会議の相手先に関しましては、調整を図ります。

それから、その他としましては、政策立案推進部会というものが平成30年から令和3年にかけて検討がございまして、その際に牧之原市の子どもの未来を育む条例についての調査結果資料がございましたので、そちらを当時委員であった原口委員から説明していただきました。

それから、当局へ資料請求を行っていた史料館と民俗資料館管理運営費における工事請負費の内訳についていただいたものを確認し、そのことについて協議し、今後、当局からの資料請求については詳細を示したものを提出していただきたいというような話し合いになりまして、それをまた議運のほうで諮らせていただくということになっておりますので、また議運の際に、そちらはお願いしたいと思っております。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 (5) 議会広報特別委員会

○議長（村田博英君）

議会広報特別委員会、種茂議員。

○8番（種茂和男君）

議会広報特別委員会では、10月29日に第5回委員会で、ゲラ刷り原稿の2回目の校正をしました。

最後に、11月6日、正副委員長で最終確認をして、11月15日に発行いたしました。

以上、報告いたします。

3 議長・関係議員・委員会報告 (6) 議会改革特別委員会

○議長（村田博英君）

議会改革特別委員会、原口委員長。

○15番（原口康之君）

前回の全協のときに中止になっていたもので、今回も本日開催予定でしたが、本日研修のほうが入っているということで、11月21日、合同協議会終了後を予定していますので、よろしく願いいたします。

以上です。

5 その他 (1) 令和6年度 市内小中学校卒業式への出席について

○議長（村田博英君）

4の協議事項はありませんので、5のその他にいきます。

(1) 令和6年度市内小中学校卒業式への出席についてを議題といたします。

まず、事務局から状況を報告してください。

本杉係長。

○事務局書記（本杉周平君）

それで私のほうから、少し状況のご報告をさせていただきます。

まず、議会の予定につきましては、先ほど私のほうからもご説明いたしましたが、例年この時期に協議いただいて、いろんな会議の都合がありますので、11月下旬、それから12月上旬のうちには全庁的にこういった形で議会をやりますということでご報告のほうをさせていただいているというところでございます。

そういったところ、資料5をご覧くださいというふうに思っておりますけれども、3月のところ、例年3月は市内の各小中学校の卒業式が入ってきます。今年度ですけれども、その14日から19日のところをご覧くださいというふうに思っておりますけれども、今年度については卒業式が4日間にまたがっております、これについて4日間のうち3日間が予算連合審査会と重なっているという状況がございます。

19日の卒業式につきましては、常任委員会を午後からということで、そもそもしておりますので、午前中に開催される卒業式については出席いただけるかなというふうに思っておりますが、14日、17日、それから18日に開催される卒業式につきましては、予算連合審査会という、予算を審議する重要な会議と重なっているという状況が今あります。これにつきましては、来年度、令和7年度の予定を私のほうでつくる際に、今年の予定をということで確認したところ、このようなふうに重なっているということが判明いたしましたので、タイミングとしては今ご報告をさせていただいているということでございます。以上です。

○議長（村田博英君）

ただいま、事務局から報告がありましたとおり、今年度の卒業式については、4日間開催するうちの3日間が予算連合審査と重なっているということで、残りの1日については常任委員会が午後からとなっておりますので、午前中に開催される卒業式は出席いただけるような状況になっております。

市内小中学校の卒業式につきましては、これまでも式の日程が分かり次第、常任委員会及び全員協議会と重なった際には、それらの会議を午後からの開催にする等して調整を図ってきた経緯がございます。しかし、今年度は4日のうち3日間が連合審査会と重なっております、現実的に日程を変更することは困難です。また、先ほどの議会事務局からの説明のとおり、次年度の議会の日程については、他の会議等の参考にしてもらうよう、例年11月下旬から12月上旬には全庁的に示しているという事実もございます。

以上のことから、11月5日の議会運営委員会においても協議をしまして、議会の日程は変更しないということを決定いただいたところであります。

議員としては議会優先ということは当然ですので、今年度については重なっているものについては、欠席としていただきますよう、お願いいたします。

なお、この件に関しましては、先週11日、総務建設委員会終了後に、私から教育長に対して、今年度の卒業式が議会の会議日程と重なっているが議会日程は変更しないため、一部の小中学校を除いて議員は出席できない。なお、卒業式当日は、議員は議会の会議と重なっているため出席できないということを伝えてほしい。議会の日程を先に出している中、このように重なることは遺憾であることから、次年度については、議会日程を考慮した形での検討を求めたい。ただし、カリキュラムの都合で仕方なく重なった場合は、議会としても大きな日程変更は行わないということについて、申入れを行いました。

ご承知おきください。

この件でご質問等ある方はお願いします。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

今、議長から報告があったとおり、当然だと思います。その中で、連合審査会って当然当局が、市長含め、副市長、教育長も大事な会議ですので出ておりますけれども、そっちの対応については、どのようなという、教育長からは話はなかったですか。

○議長（村田博英君）

こっちから言いました。職員は全部審査会へもちろん出るから、日程は変えられないと。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

そういうことじゃなくて、市長と副市長、教育長が、連合審査会は当然出ていますけど、それについては、どういう対応しますかということです。市長たちは、卒業式に行ってしまったら出られないし。

○議長（村田博英君）

局長。

○局長（前田 明人君）

すみません、それこそ本件を検討するに当たって、少し総務のほうも併せて話をしてみたいですけれども、市長、副市長、こういった重なる行事のときには、いろいろと分担して出席しているよということなんですけれども、あくまでも卒業式とかの場合は、既に公務とか入っていないくて出られるような状況であれば出るよというような形で、これまでも進めてきているというようなことで、今回のような、それこそ公式な行事が入っているときには、欠席というような形を取っているということなので、これまでどおりの対応という形になるということです。

したがって、予算連合審査のときには出られないというような形になって、出られるとしたら、19日、ほかの行事が入っていなければ調整して、どこか中学校か地頭方の小学校か、そちらのほうで出られる場合があるというようなことで考えているということだと思います。

以上です。

○議長（村田博英君）

いいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

5 その他 （2） 議会防災訓練（12/1 地域防災訓練）について

○議長（村田博英君）

2 番の議会防災訓練の件ですが、地域防災訓練について、資料 6 をご覧ください。

次長。

○事務局次長（浅井大典君）

資料 6 をご覧ください。

防災訓練ですけれども、昨年12月、今年 9 月と中止になってしまっておるものですから、

また、事務局のほうのメンバーも大幅に入れ替わっているということで、今回はあくまでも災害の手引きに基づいて、災害時には、災害の程度にもよってケース・バイ・ケースということもございますけれども、基本的にはこういった対応を取るということを再確認する意味でも、昨年度、また計画したものと同様の訓練を計画しております。

日時につきましては、令和6年12月1日の日曜日です。9時から訓練地震発生、おおむね正午頃までということをお願いいたします。

内容につきましては、基本的にはタブレット端末を活用した訓練ということで考えておりまして、まずは安否の確認で報告をしていただくと。事務局により、トークにて議員さんへを呼びかけて安否の確認を報告してくださいということで、それぞれ。なお、この際本当に簡潔にどこどこでということ報告をしていただければ、写真等は最初のところの安否の報告については結構でございます。こちらで集計をさせていただきます。

また、本部長ということで議長、副本部長ということで副議長、また、今まではやっておらなかったんですけれども、手引きに基づいて、議会運営委員会の委員長と両常任委員会委員長につきましては、相良庁舎4階へ登庁していただくということで、当庁次第、議会災害対策支援本部を設置すると。本部役員会議の開催。

ほかの議員の皆様につきましては、当局、危機管理課からそれぞれの区がどこを会場にどんな訓練をするかという一覧を、またこちらのほうに送るということになっておりますので、それが来次第、皆様にお示しをしますので、示された各訓練会場へ移動していただきまして、到着時間及び活動場所の報告をしていただくと。

全議員間におけるビデオ通話訓練ということが終わってから、活動拠点から、それぞれコメント及び訓練状況等の写真を送っていただくという訓練を想定しております。

おおむね11時50分ぐらいに訓練終了ということ考えております。

右に、今口頭で言ったものの、もう少し詳細なものが書いてありますが、また当局から来る各訓練会場の一覧を含めまして、もう少し詳細な時間軸に基づいた訓練の詳細を書いたものを、また資料としてフォルダのほうに保存させていただきますので、準備ができましたら、またご報告をさせていただきます。

また、留意点といたしましては、インフルエンザ等の感染もはやってきておりますので、必要に応じて、強制ではございませんけれども、マスクの着用ということをお願いいたします。

説明は以上です。

5 その他 (3) 議員勉強会について

○議長（村田博英君）

(3)の議員勉強会について、同じく事務局から。

次長。

○事務局次長（浅井大典君）

議員勉強会についてです。

日時といたしましては、令和6年11月21日、今週の木曜日を予定しております。

時間といたしましては、午後3時から、おおむね午後4時15分ぐらい。これにつきましては後ほど説明しますけれども、少し時間が前後する場合がございます。

場所は榛原総合病院の1階の奥の講堂になります。

内容といたしましては、手術支援ロボット、先般も市長が全員協議会で説明をしましたけれども、手術支援ロボット「サロア」というものの最新の手術ロボットが導入されたということで、これの紹介、また医師の状況であるとか、今年7月にオープン、開設しましたHCU、高度治療室というものが新しくできましたので、そういった病棟。これも新しくできた地域包括ケア病棟、あるいは回復期リハビリテーション病棟、こういったものの紹介というか、詳細な説明をしていただけるといことと、その説明と質疑が終わりましたら、現時点ですけれども、施設の見学ということで、HCU、高度治療室、手術室、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、レストラン、また屋上ヘリポートを予定しております。

ただし、病院組合側のほうから、例えば手術が緊急の手術が入ったりとか、あるいは高度治療室を急遽使用するということになった場合には、見学ができない場合があるということがありますということで、もし見れない場合がありますら、少し終わりが早まるというようなことも想定されますので、お含みおきください。

対象は全議員の皆様ということで、予定をしておいてください。

また、その他といたしまして、タブレット端末、これまた病院組合側から資料が送られてくることになっておりますので、またタブレット端末のほうに資料をデータ保存しますので、タブレットの持参をお願いします。また、当日の議員勉強会は前回も報告させていただきましたが、午後3時からということで予定しておりますので、各自で来ていただきまして、基本的に車で来ていただいた方につきましては、病院の西側の道路を隔てた向かいにあります第二駐車場の、特段ここという指定はしませんけれども、午後になりますと患者さんも少なくなっておりますので、結構車はかなり台数停められますので、第2駐車場の停められるところに適宜とめていただくよう、お願いしますということでありました。

また、先ほども申しましたけれども、インフルエンザということも流行期に入っておるということと、病院という特性もありますので、申し訳ありませんが、病院組合のほうから、院内での感染症予防のため、マスクを院内に入ったら着用して、見学が終わって出るまではマスク着用ということでお願いをしたいということで、組合のほうからお話がありましたので、こちらの留意点にありますので、お願いいたします。

説明は以上です。

○議長（村田博英君）

では、以上でその他は終わりました。

本杉係長。

○事務局書記（本杉周平君）

すみません、私のほうから2点、少しお知らせをさせていただきます。こちらのほうへ来ているチラシが2点ありましたので、そちらのご案内になります。

まず、森林環境譲与税活用事業及び森の力再生事業に係る合同勉強会の参加案内ということで、これについては県議会のほうの、森林・林業・林産業産業活性化促進議員連盟というものが県議会のほうで設けておりまして、これは森林・林業・林産業を活性化することにより、山村経済の振興及び県民の福祉向上に貢献することを目的に活動する連盟という形になっておりますけれども、そちらのほうから、ぜひ市町の議員さんの皆様とともに、

森林環境譲与税の有効活用と森の力再生事業の今後について考える勉強会を開催したいということで、ご案内通知が来ております。

これにつきましては、全議員さん分いただいておりますので、この後、状差しのほうへ入れさせていただきます。

日程的には、12月24日の午後からという形になっておりますけれども、またご確認いただきまして、この通知の中に参加連絡表もついておりますので、ご参加をされる方については、大変申し訳ありませんが、各自で申込みをしていただき、当日もこちらで特にバス等出しませんので、各自でご参加される場合は、県庁のほうでありますけれども、こちらのほうに向かっていただければというふうに思いますので、よろしくお願いします。

詳細はまたチラシを確認いただければと思いますので、よろしくお願いします。

それからもう一点ですけれども、こちらについては、内閣府の男女共同参画局のほうから、政治への参画に当たっての支障や課題に関する実態調査ということで、アンケート調査のお願いが来ております。これについては、政治分野における男女共同参画の推進に関する法律という中で、こういった実態調査を行うことという決まりがあるということで、前は令和2年にやったということですが、それと同じような形でまたアンケートのお願いが来ております。

これにつきましても、またこの後、通知を状差しへ入れさせていただきますけれども、回答につきましては任意という形になっておりますので、ご協力いただける方につきましては、可能な限り、ご回答をお願いできればというふうに思っております。

なお、回答方法につきましては、原則、通知に2次元コードがついておりますので、そちらを読み取っていただいて、ネットのほうで回答いただければというふうに思っております。少しネットが難しいよという方でしたら、紙のものもご用意しておりますので、お申し付けいただければお渡しできますけれども、郵送等につきましては、各自でご対応いただければというふうに思っております。

こちらも詳細はまた後ほど確認いただければというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（村田博英君）

ほかは事務局、いいですか。

では、以上で議員全員協議会を終了いたします。

〔午前 10時31分 閉会〕